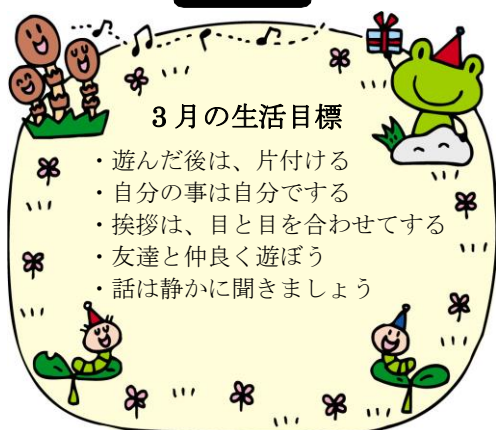


永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
 令和3年3月発行・第167号
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園
 TEL:0952-31-6877



「来年度に向けて・・・♡」

世界中の人たちにとって、本当に大変な1年間でした。子育て支援センターぽぽらも休止や開催方法の変更等、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様の全面的なご理解とご協力で運営することができました。心より感謝申し上げます。行政の指導の下、段々と工夫をしながら開催していきましたが、子育て中の皆様には十分なことができずに、本当に心残りです。そんな中、佐賀県の子育て支援を担う仲間たちが集い、この渦中で学んだことや考えたこと、工夫したこと、発見したこと等を持ち寄り今勉強中です。久しぶりに私も毎回参加して、来年度の実施に向けてヒントを得ているところです。

来年度のテーマは、「つながる、笑顔をふやす」です。担当者からは、今年度の無念を晴らすような、新しい企画や取り組みが提案されています。

どうぞ、楽しみにお待ちください。

今年度もご利用ありがとうございました。

(三光保育園園長)

2月は豆まきをしたり、おみせやさんごっこをしたり、写真アートをして、皆さんとの時間を楽しみました。



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。マスクを着けておしゃべりや物作りを楽しみませんか？

日時：3/19 (金) 10時～11時

3月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・3月4日(木)・・・フリーディ
- ・3月8日(月)・・・フリーディ
- ・3月16日(火)・・・なかよしミックス
- ・3月17日(水)・・・なかよしミックス

※時間：10時～11時

※開催場所：子育て支援センター・運動場・他施設(公園等)

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。1歳と2歳・3歳の日は、参加できます。

※事前の電話での申し込みが必要です。

3月分の申し込みは、3/1～9時半～17時です。

★新型コロナウイルス感染状況により、計画を変更する場合があります。出かける前に必ずホームページで確認してください。感染症対策にもご協力ください。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

12:30～13:30

昼休みの為閉園

13:30～16:00

- ・ご利用の場合は、必ず電話での申し込みをお願いいたします。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

子育て便り 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

試行錯誤を繰り返しながら

西九州大学子ども学部子ども学科教授 上野 景三

はやいもので、もう 3 月です。大変な一年でしたね。昨春には新型コロナで小学校や幼稚園も休みになり、子どもたちは自宅で過ごす時間が増えました。不要不急の外出は制限され、子どもたちは公園に行くことも許されず、群れて遊びたがるのも「だめ!」と言わなきゃならない。これでは子どもにも親にもストレスがたまるはずです。

コロナ禍で、家庭内暴力 (DV) の増加がマスコミ等で報道されています。「私だけは大丈夫」と思っているような人でも、「まさか私が・・・」となる危険性もあります。私も家庭で妻と一緒にいる時間が長くなり、つまらないことで喧嘩したりするようになりました。夫婦間だけでなく子どもに対しても同じで、普段ならば叱らないようなことでもつい怒ってしまい、ストレスのはけ口が子どもにむかってしまっているのではないのでしょうか。

ストレス解消法は、いろいろありますが、身近な解決法の一つは、人としゃべることにあります。子育て支援センターに参加することの大きな意味は、この点にあります。ネットでもさまざまな情報を入手することかできますが、ネットの情報と子育て支援センターで得られる情報とは、どこが違っていると思いますか？

大きく違っているのは、情報に人間がついてくることです。ネット上での情報は匿名を基本としていますので顔が見えません。逆に子育て支援センターでの活動の中での情報は、子どもの顔も親の顔もついてきます。人間の顔が見えます。人間の顔が見えるということは、子育てに関するその人なりの努力や工夫、また悩みも見えるということです。みんな悩みをもちながら、工夫し努力を積み重ねている。その点に私たちは励まされ、自分も頑張ってみようという気持ちになるのです。

もう一つは、ネット上の情報は検索するとたやすく入手できるのですが、一方通行なのです。「ネットではこういう情報があがっていたのに、どうしてうまくいかないのかしら」と思うことはありませんか。わが子に適しているかどうかは、ネットは保証してくれません。支援センターの活動に参加すると、双方向で見よう見まねが可能です。試行錯誤を重ねながら「なるほど、わが子にはこうすればいいのか」と少しずつ理解することができます。子育て支援センターは、子どもも親も育つ場なのです。